

木工

東白川郡森林組合

ひがししらかわぐんしんりんくみあい
 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字南町10012
 電話 / 02471331216
 FAX / 02471331442
 URL / <http://www.uyou.gr.jp/hs-shirin/>



大切な森を守る 間伐材の家具

いまにも香りが漂ってくるような、ヒノキの木目を生かした小さな椅子。「小学校4年生が授業で作るのが、この（木製椅子キット）です」と菱川さん。森林組合では、森を守るために管理し、そこで出た間伐材を利用して企画・製品化し、授業や地域のイベントに提供しています。「同じ物はふたつとない。それが木の良さなんです」と菊池さんが語るように、自分の手で組み立て、釘を打ち込んで完成させる木の椅子は、体験することで天然素材の魅力にふれる貴重な機会に。間伐材を使うことが森林整備や環境保護につながることも、子どもたちは学んでいます。

ブランド材として知られる奥久慈の一部である東白川郡の森林は、杉やヒノキなど針葉樹が多く、均等な年輪や狂いの少ない木材として、主に建築に多用されてきました。原発事故後も、幸い放射線量は低かったため、木材の単価が下がるなどの被害はなかった半面、林業に携わる人材の後継者不足が心配されています。「雨が降ったり風が強いとできない過酷な仕事ですから、ちょうど30〜40代の方がいないんですね。緑の雇用プロジェクトで20代が2人ほど入ったので、その人たちが続けてくれるといいんですけど」と金川さん。自然と向き合う仕事ならではの厳しい現実が、ここにあります。



④

土砂災害の原因になることも、成長した木を伐採し、それが木材として製品に生まれ変わり、そこでも余った端材は木炭やペレットなどの燃料へ。森の恵みを余すこと無く生活に役立てる昔ながらの循環が、ここでは大切に守られていました。

自然と対話し 共生する未来へ

- ① 木造建築のよさを伝える倉庫。伐採した木は乾燥させた後、ここに保管する。
- ② 削り直し、新品のように再生した桐箆箆。職人の技で、何代も愛用できる日本伝統のエコな木製品。
- ③ 森林組合の木工製作を担うフジタ木工の藤田勝利さん。
- ④ 近隣の森へ案内してくれた業務課の菱川学さん。
- ⑤ 豊富な知識をもつ参事の菊池晃一さん。
- ⑥ 林業の未来を想う総務部長兼業務課長の金川喜久さん。



⑥

⑤



010

010 木製ベンチ

(幅182×高さ92×奥行60cm、受注生産)
 ……[税込152,500円～]
 ヒノキ材使用。木のぬくもりが、待合室、休憩所などのスペースにおすすめ。サイズ等カスタマイズ可能な注文生産です。



008-1

008-2

008-2 木製椅子キット

(背もたれなし、スギ材、幅29.5×高さ40×奥行31cm、受注生産)[税込11,575円～]

008-1 木製椅子キット

(ヒノキ材、幅31×高さ60×奥行31cm、受注生産) ……[税込14,725円～]

釘は座面にしか使わない、組み込み式簡単キットです。当地域の小学校の木工授業にも使われています。



009-1

009-2

009-2 木製ベンチ

(幅160×高さ40×奥行60cm、受注生産)
 ……[税込142,000円～]

009-1 木製テーブル

(幅120×高さ60×奥行61cm、受注生産)
 ……[税込150,400円～]

ヒノキの美しい木目を生かしたナチュラルな仕上げ。スペースに合わせて、サイズ等カスタマイズ可能な注文生産です。